



老松神社 春の大祭

（今年の五穀豊穡を祈願）

少し肌寒い雨が降った4月22日、土師の老松神社で、五穀豊穡を祈願する春の大祭が開催されました。今年はお下土師地区による獅子舞と子どもたちのノリ打ち、そして土師神楽座によるお神楽が奉納されました。



下土師の獅子舞
子どものノリ打ち



土師神楽座

老松神社の拜殿で行われたお神楽では、「真神」から「岩戸」までの計7つの舞が、奉納されました。

現存する日本最古の歴史書として有名な「古事記」がもとになっているお神楽。

その物語のなかで面を着けて行う面神楽では、あまりの威圧感に小さな子どもは怖がって、拜殿に近づけないほどの迫力で舞が行われ、見るものを圧倒していました。



雨のため、老松神社すぐ横の「社務所」で行われた獅子舞とノリ打ち・廻り打ち。場所は変われど、立派な奉納ができたのは、日ごろの稽古の賜物でしょう。

笛や太鼓も、いつも以上に力強く感じられました。

